

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日時：平成30年10月5日（金）5校時

1、単元名 ふるさとのよさを伝えよう～自分たちができること～

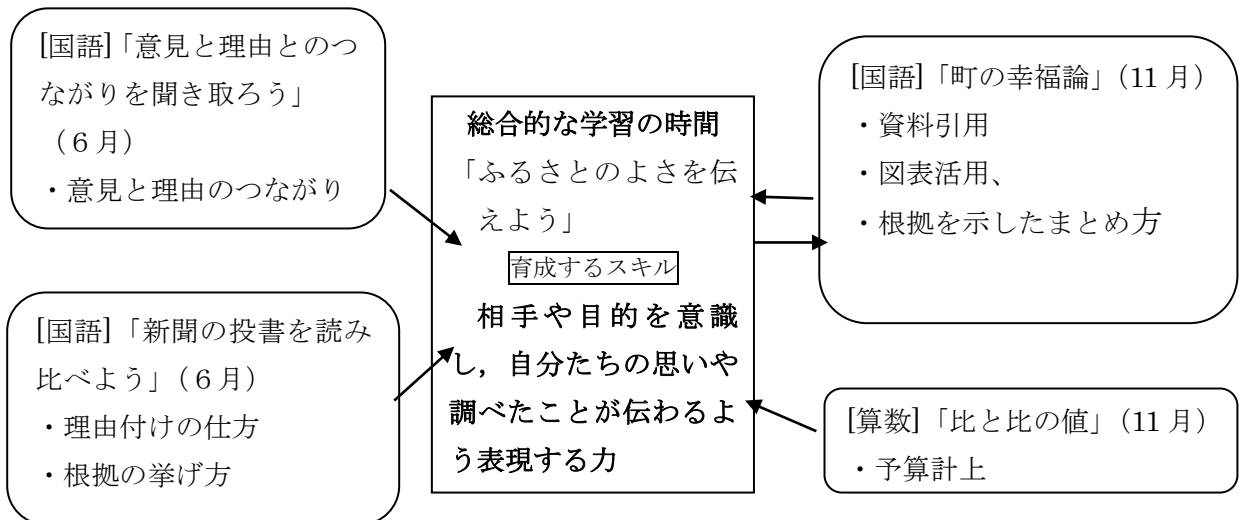
2、単元目標

- ふるさとのよさを知り，学んだことを生かして自分たちができることを発信していくことを通じて地域に貢献しようとする態度を養う

3、つきたい情報活用能力

- 相手や目的を意識し，自分たちの思いや調べたことが伝わるよう表現する力
(⑤ 調べたことを表現する・伝える力)

4、単元構成モデル



5, 指導計画（全12時間）と評価計画

次	時間	目標	学 習 過 程	学習活動	評価							
					関 心	発 見 力	表 現 力	関 係 力	評 価 力	行 動 力	評 価 規 準 (評 価 方 法)	
一	1	○江津東の産業や文化を学ぶことに興味を持つことができる。	見 つ け る	江津東の産業や文化について今まで学習してきたこと知っていることを話し合う。	○							「ふるさとのよさを伝えよう」の活動に関心を持つことができる。
	2 3 4	○嶋田窯や住京蒲鉾店の思いや願いを聞いたたりし、感想を持つことができる。		文化や特産物に携わる人の思いや願いを知ったり、実際に作ってみたり試食したりしてみる。 ・嶋田窯 ・住京蒲鉾店		○		○				働いておられる方の思いや願いを知り、自分ができる事を考えようとする。
		自分たちができること										
二	5 6	○自分達ができる事を考え、事業計画を立てることができる。	つ か む	自分たちができる事を考え、班の事業計画を立てる。		○	○					実現に向けた活動の見通しを持ち、学習計画を立てることができる。
	7	○プレゼンテーションのセリフや役割を考慮することができる。		プレゼンテーションのセリフや役割を考慮する。			○			○	分担当した事業計画書のセリフを考慮することができる。	
	8 本時	JPXの人に、自分たちのふるさとに対する思いが伝わるように友達と意見交流しながら、プレゼンテーションを考慮することができる。		思いが伝わるプレゼンテーションを考慮する。			○			○	思いが伝わるプレゼンテーションを考慮、伝えあうことができる。	

	9	プレゼンテーションの資料を作り、練習することができる。		プレゼンテーションの資料を作り、練習する。				○		○	事業計画をもとに、見せる資料を友達と協力して作ることができる。
	10	○思いを込めて、分かりやすく発表することができる。		教育委員会の方、JPXの方にプレゼンテーションをする。				○		○	思いが伝わるプレゼンテーションができる。
				国語算数の授業を活用して							
三	11 12 13 14	○意欲的に自分たちで商品を作ったり、ポスターを作ったりしていくことができる。	行動する	自分たちで商品を作ったり、ポスターを作ったりする。				○	○		観光客を想定して作っていくことができる。
	15 16	○現地で観光客に分かりやすく特産物や商品を説明し、商品を売ることができる。		地域のイベントに参加して、ふるさとをPRしたり、商品を売ったりする。					○	○	積極的にPRをしたり、観光客と気持ちのよい関わりをしたりすることができる。
四	17	○地域の方や観光客の反応をもとに、ふるさとのすばらしさ、自己の生き方について考えることができる	まとめ	「ふるさとのよさを伝えよう」の活動全体を振り返る。 ・活動の写真 ・振り返りワークシートから ・アンケートから						○	ふるさとのすばらしさに気づき、自己の生き方について考えることができる。

6、 本時の学習（8/17）

(1) 目標 自分たちのふるさとに対する思いが伝わるように、友達と意見交流しながら、プレゼンテーションを考えることができる。

(2) 展開

学習活動・予想される児童の反応	教師の支援（○）と評価（☆）
<p>1, めあて・今日の活動を確認する。</p> <p>思いが伝わるスーパープレゼンテーションを作ろう。計画書1～3</p> <p>2, 自分たちのプレゼンテーションを振り返る。</p> <p>○「みんながこのプレゼンテーションで伝えたいことは？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江津のよさを伝えたい ・住京蒲鉾店のよさを伝えたい。 ・江津をたくさんの人に知ってもらいたいなあ。 <p>3, 中学生ふるさとスーパープレゼンテーションを視聴する。</p> <p>○「今のを見て中学生たちは何を伝えたいと思った？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元のことを ・地元のいい所を紹介しているな。 ・伝統を守ること。 ・お店を守ること 	<p>○めあて・活動を確認することにより、児童は見通しをもって活動することができるようにする。</p> <p>○ふるさとへの思いを振り返ることにより児童が意欲をもって活動に取り組めるようにする。</p> <p>○中学生スーパープレゼンテーションを見ることにより、思いが伝わるプレゼンテーションに気づくことができやすいようにする。</p>
<p>4, 思いが伝わるスーパープレゼンテーションを考える。</p> <p>○「思いが伝わるのにどうしたら良いのか付箋に書こう。」</p> <p>○自分の考えを付箋に理由もつけて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を描こう ・江津市のいい所をもっと調べて伝えよう。 ・引用してみるといいかも。 ・江津市の景色を写真で伝えよう。 ・江津市アンケートを下級生にとって表にして紹介するとわかりやす 	<p>○本時は計画書1～3に焦点化することにより、思いが伝わるプレゼンテーションを考えやすいようにする。</p> <p>青付箋（スーパープレゼンを見て） 赤付箋（自分で考えて） 付箋（☆）</p> <p>○プレゼンの本や資料を用意し、自分の考えが持ちやすいようにする。</p> <p>○国語科・算数科で学習したことを掲示しておくことにより、個人やグループで考える手立てとなるようにする。</p>

<p>いかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割の所に一人一人のおもいをのせてみたら。 <p>5, グループで自分の気づきを伝えあう。 ○大型ワークシートに自分が考えた付箋をグループ全員で貼っていき、考えを伝える。</p> <p>6, 話し合ったことを発表する。 ○江津市のいい所もつと伝えよう。 ○江津の写真をたくさんせよう。 ○会社名に江津市を入れよう。</p>	<p>○自分の考えをもつことで、グループでの話し合いに参加しやすいようにする。 観察 (☆)</p> <p>○発表を聞くことにより、自分たちも他グループの気づきを取り入れたり、よりよいものを作ろうとする意欲につながったりする。</p>
<p>7, 本時の振り返りを行う。 ○感想・よかったところなどを聞く。 ○思いのこもったプレゼンテーションとは・・・。</p>	<p>○感想を通じてプレゼンの変容を実感することにより、学習成果を実感できるようにしたり、次時への自信を深めたりするようにする。</p>

(3) 本時の具体的な評価基準

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	努力を要すると判断される児童への支援
<p>思いが伝わるプレゼンテーションの仕方を付箋に書いたり、理由も書いたりしている。 また、その考えを友達に伝えることができる。</p>	<p>思いが伝わるプレゼンテーションの仕方を付箋に書いている。</p>	<p>書くことができない児童には、教科で学習した掲示物や本を読み、教師と一緒に考えて考える。</p>

(4) 研究の視点

思いが伝わるプレゼンテーションを作るための教師の支援は何が有効であったのか。

(ア) 中学生ふるさとスーパープレゼンテーションを見たこと。

(イ) 自分の考えが持てる付箋やワークシートを準備したこと。

(ウ) プレゼンテーションの本を用意したこと。

(エ) 「思いが伝わる」に焦点化してグループや全員で話し合わせたところ